

経営比較分析表（令和4年度決算）

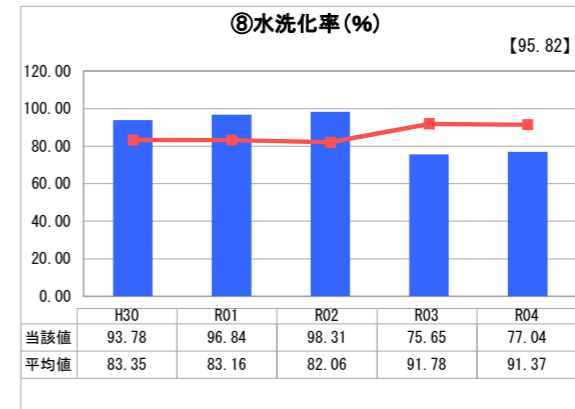
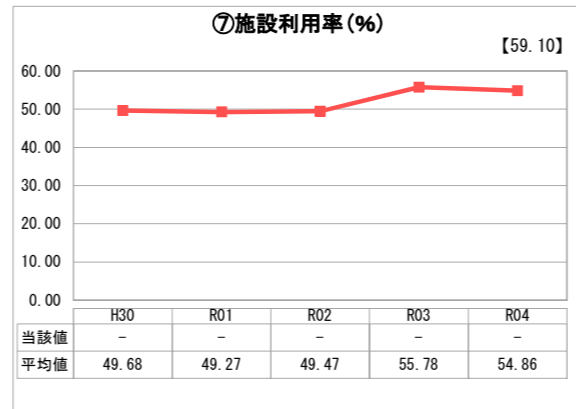
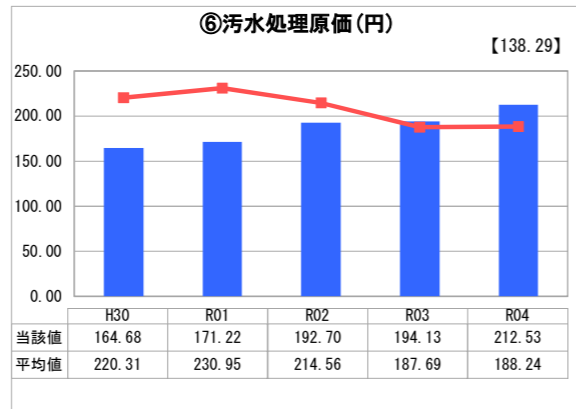
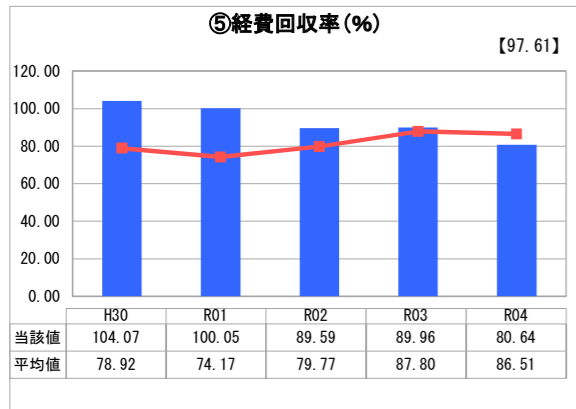
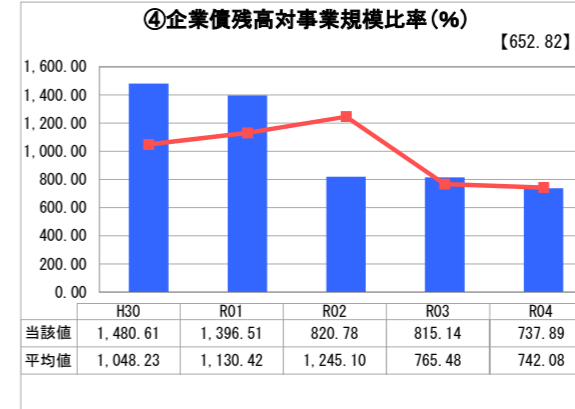
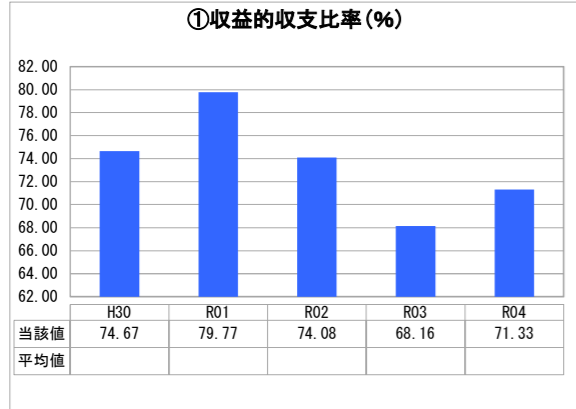
香川県 多度津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	59.87	83.39	2,640

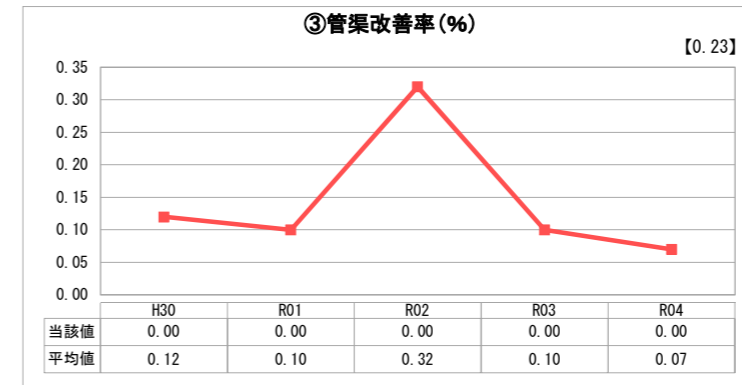
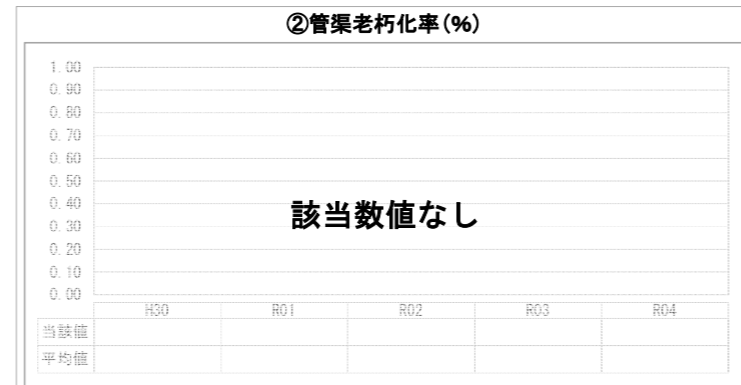
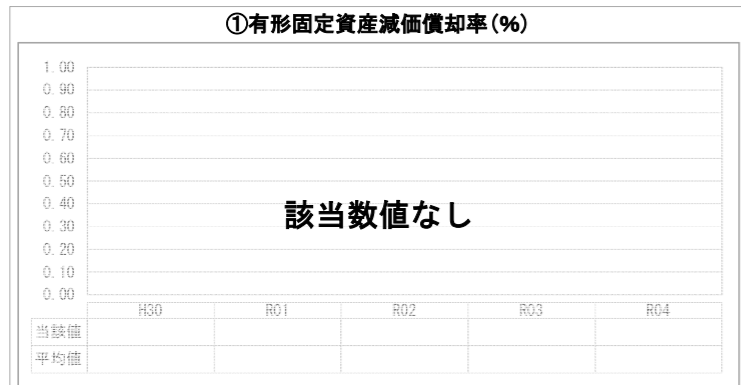
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,126	24.39	907.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,190	6.28	2,100.32

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、100%を下回っていますが、これは、地方債償還のための資本費平準化債の発行と、公営企業会計適用の為の公営企業会計適用債の発行を行っているためです。今後、地方債の償還が減少していくことが見込まれており、また、公営企業会計適用債の発行が終われば、順次100%に近づいていくものと考えています。

但し、人口減少等の影響により使用料収入が減少しており、引き続き経営の健全化に向けた努力が必要であると考えられます。

⑤経費回収率については、100%を下回っていますが、これは、汚水の維持管理費に公営企業会計適用債を充当していることや、汚水資本費に繰越金を充当していること等の影響によるものです。使用料収入で賄うべき部分は使用料収入で賄うことができていますが、今後、使用料収入の減少や、物価高騰等による維持管理費の増加が予想されていますので、引き続き経営の健全化に向けた取り組みが必要と考えています。

⑧水洗化率については、令和3年度に算定方法を改めたことにより急減しました。水洗化率の向上は、地域環境の浄化に寄与するだけでなく、下水道経営の基本と考えていますので、引き続き、積極的な下水道広報を通じて水洗化率の向上に努めていきたいと考えています。

2. 老朽化の状況について

本町の下水道事業は、平成3年に供用開始しており、現在、30年以上経過しています。管渠については、耐用年数を超えたものはありませんので、管渠調査等を積極的には行っていません。

今後、耐用年数に近づくにつれて、改善を要する箇所が発生すると想定されていますので、計画的な調査点検及び改善に着手する必要があると考えています。また、そのための費用の確保も必要と考えています。

また、ポンプ施設については、現在、ストックマネジメント計画に基づく改築更新を行っており、引き続き、計画的な改築更新を行っていきます。

後は、ポンプ施設と管渠、双方を考慮した改築更新計画の検討等が必要であると考えています。

全体総括

令和4年度決算について、資本費平準化債の発行や、公営企業会計適用債の発行、前年度繰越金の増加等が経営指標を押し下げる要因となっていますが、使用料収入で賄うべき費用については、使用料収入で賄えていると考えています。今後、企業債残高は減少を予定しており、経営に明るい印象を与えています。物価高騰等による維持管理費の増加や、人口減少による使用料収入の減少も見込まれていることから、引き続き予算を許さない状況であると考えています。

後は、令和6年度からの地方公営企業法の適用による、より一層の経営分析を行い、経営の透明化、健全化を図るとともに、今後の改築費用等も含めた適正で納得のいく下水道使用料の改定等を検討しながら、持続的な下水道事業の運営に努めていく必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。